

# 仕事と賃金のルール

——「働き方改革」の社会的対話に向けて——

## 目 次

はじめに

序 雇用関係を研究するということ	1
1 「働き方改革」の不思議	1
2 雇用関係研究の方法	5
3 本書の課題	13

第I部 賃金のルール
------------

1 日本：人基準の賃金とその進化	17
1 年功主義の時代：戦後～1960年代中葉	17
2 能力主義の時代：1960年代中葉～1980年代末	20
3 成果主義の時代：1990年代～現在	33
2 英米：仕事基準の賃金（ジョブ型賃金）の実際	45
1 英国の賃金：現地調査から	45
1-1 BSCスカンソープ事業所調査	46
1-2 英国賃金制度調査	62
2 米国の賃金：現地調査から	79
2-1 GMランシング工場調査	79
2-2 サンフランシスコ・ベイエリア周辺企業の賃金制度調査	80

3	日本と英米の賃金制度の比較	87
1	固有の構造	87
2	労働市場制度の相違	89
3	賃金思想と仕事の管理思想	90

<b>第Ⅱ部 仕事のルール</b>
-------------------

4	仕事論	97
1	賃金論の限界と仕事論の必要	97
2	仕事論の着想	98
3	仕事論の理論的輪郭	99
5	日米自動車工場の仕事のルール	105
1	労働組合組織と内部労働市場	105
2	生産計画と勤務体制	109
2-1	A工場	109
2-2	J工場	111
2-3	相違の含意	113
3	工場の管理機構	114
3-1	A工場	116
3-2	J工場	123
3-3	管理機構と労働アーキテクチャー	124
4	品質管理	125
4-1	J工場	125
4-2	A工場	130
5	能率管理	133
5-1	J工場	133
5-2	A工場	140

6	英国の仕事のルール	148
1	会計管理優位の経営	148
2	英国進出日本企業	150

<p>第Ⅲ部 日本の雇用関係と「働き方改革」</p>
----------------------------

7	賃金と仕事のルールから雇用関係へ	155
1	賃金のルールと仕事のルールの相似性	155
2	労働アーキテクチャーを媒介にした雇用関係論へ	156
3	仕事のルールの観察なき雇用関係論への疑問	157
8	日本の雇用関係の特質：欧米と日本	160
1	欧米と日本の雇用関係	160
2	日本の雇用関係の明暗	165

結 「働き方改革」のためのソーシャル・

	ダイアログ（社会的対話）	169
1	「改革」をどうとらえるべきか	169
2	試論的提案：「取引を通じた合意」の雇用関係へ	170

引用参考文献 …… 179

索引 …… 184